

ジュニア会員活動 のご紹介

2024年度版

ジュニア会員制度

ジュニア会員制度は2015年度に開始しました。サービス内容等は次の通りです。制度充実のためにいろいろな企画やサービスを展開しております。現在では約3,000名の会員が活動しています。

■対象者

小中高校生、高専生専攻科1年まで、短大生、大学学部3年生まで、専門生

■ジュニア会員サービス

- ▶ 会誌「情報処理」が電子図書館で読める。
- ▶ その他の論文（論文誌、研究報告）も電子図書館で無料で読める。
- ▶ イベントにジュニア会員価格（0円または格安）で参加できる。

■ジュニア会員のページ <https://www.ipsj.or.jp/junior/>

会員募集
会費無料

ジュニア会員

一般社団法人
情報処理学会
Information Processing Society of Japan

ipsj ジュニア

ジュニア会員のページ
<https://www.ipsj.or.jp/junior/>

入会について

Q. どうすれば入会できますか？
A. こちらからお申し込みください。
<https://www.ipsj.or.jp/junior/about/junior.html>

小中高生の方は、保護者の同意をもらってからお申し込みください。

Q. 何年生まで申し込みできますか？
A. 小中高生
大学学部3年生以下
高専専攻科専攻科1年生以下
短期大学生
専門学校生

対象者は、上記の通りです。申込時点の学年で判断ください。
※ただし、以前「正会員」にご入会いただいている方はこの制度をご利用いただけます。学生証の確認をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q. いつまでに申し込みが必要ですか？
A. 毎年2月末まで

大学学部3年生や高専専攻科1年生などの最長学年の方は、2月末日までです。その他の学年の方はいつでもお申し込みいただけます。

ジュニア会員とは

ジュニア会員制度の概要

若い世代の学生の皆様に、情報処理学会のコンテンツに触れてもらう機会を増やすとともに、学術と産業の発展に貢献できればと考えて、この制度を始めました。

ジュニア会員サービス

- 1 会費が無料です。
- 2 創刊号から最新号までの「情報処理」を電子図書館で無料閲覧できます。紙の冊子での配布はありません。
- 3 電子図書館に掲載しているその他の有料論文もすべて無料閲覧できます。
- 4 本会のイベントは無料（またはジュニア会員価格）で参加できます。イベントによっては参加できない場合があります。
- 5 すべての研究発表会へ原則無料で参加できます。

※イベントや研究発表会への参加時に会員証を所持してください。

会員資格の有効期間
入会日から年度末（3月末）まで

会員継続方法
毎年11月～3月に翌年度の会員継続の確認メールを送りますので、3月中旬までに継続についてご回答をお願いします。
会費を継続する場合に次の通りです。
①ジュニア会員を継続する（翌年4月時点の対象学年の方）
②学生会員になる（会費有料 4,800円）
③正会員になる（会費有料 10,800円）
④会費有料で継続を希望された方は、後日マイページからお支払いをお願いします。
退会希望の方と未回答で翌年4月に対象外となる方は翌年4月1日付けで退会となります。

**情報処理学会って
どんなところ？
⇒ 詳細は裏面へ**

**人気の学会誌が
読める！**
遠くまで読める情報処理学会の月刊誌「情報処理」を電子図書館で無料閲覧しよう！

**電子図書館を
フルに活用できる！**
幅広いトピックをカバーする研究報告や専門的な論文を無料で読もう！

**学会のイベントに
お得に参加できる！**
無料またはジュニア会員価格でお得に参加しよう！

中高生情報学研究コンテスト

情報学分野に関しすぐれた研究活動を行っている中学生と高校生（中等教育学校の生徒、高等専門学校の1～3年生を含む）に、全国的な研究発表の場を与えるとともに、優れた研究を行った中高生に賞を与えることを目的として2018年度（2019年3月）から開始しました。

全国大会は毎年3月に実施され、その年ごとに違う都市で開催されます。今後も「中高生情報学研究コンテスト」は継続的に開催予定です。年間カリキュラムの一環、学習成果の発表の場、他校との情報交換の場としてぜひご活用くださいますようお願いいたします。

2019～2021年度はオンライン開催、2022～2023年度は現地とオンラインのハイブリット開催でした。

参加者多数により、2023年度からブロック大会の選抜チームが全国大会に参加することとなりました。

■ 中高生情報学研究コンテスト

https://www.ipsj.or.jp/event/event_chukousei.html

■ 第7回中高生情報学研究コンテスト@第87回全国大会

<https://sites.google.com/view/87postersession>

情報処理学会第87回全国大会併催

第7回 中高生情報学研究コンテスト

<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/87/87PosterSession/>

詳細はWebページで順次お知らせしていきます。

受付開始：2024年9月2日（月）

申込締切：2024年10月31日（木）正午
※申込多数の場合は早期に締め切ります。

ポスター締切：2024年11月15日（金）

ブロック大会：2024年12月14日（土）～22日（日）頃

全国大会：2025年3月15日（土）

全国大会日時：2025年3月15日（土）13:20-15:20

全国大会会場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市岩倉町 2-150）

主催：一般社団法人情報処理学会 情報処理教育委員会・初等中等教育委員会

共催（予定）：国立情報学研究所

後援（予定）：文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人情報処理推進機構、独立行政法人国立高等専門学校機構、公益社団法人全国高等学校文化連盟、全国高等学校情報教育研究会、全国専門学科情報科高等学校長会、一般社団法人情報オリンピック日本委員会、情報学科・専攻協議会

概要

情報処理学会では、第87回全国大会で、第7回目となる「中高生情報学研究コンテスト」を開催します。高校生なら「情報」、中学生なら「技術・家庭」技術分野「情報技術」に沿った探究活動など、日頃の情報学分野での学習成果のポスター発表を大募集します。

受付開始は
9/2 から！



情報科学の達人

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所（所長 喜連川優、以下「NII」）は、一般社団法人 情報処理学会（当時の会長 江村克己、以下「IPSJ」）及び特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会（理事長 笥捷彦、以下「JCIOI」）と共に、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）グローバルサイエンスキャンパス（GSC）「情報科学の達人」育成官民協働プログラム（以下「情報科学の達人」プログラム）を2020年4月よりスタート。2023年度には、第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえ、新たに「次世代科学技術チャレンジプログラム」としてスタートしました。

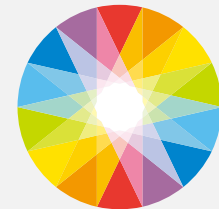
このプログラムは、20代で世界のトップクラスの研究を行う情報学研究者や技術者を日本からも多数輩出することを目指して高校生・高専生を選抜し、NII、IPSJ、JCIOIが連携して先端的な共同研究に早期に取り組ませることでエリート教育を実施するものです。

■ 次世代科学技術チャレンジ(STELLA)プログラム情報科学の達人

<https://www.nii.ac.jp/tatsujin/>

■ 「情報科学の達人」育成官民協働プログラムをスタート

<https://www.ipsj.or.jp/topics/GSCtatsujin202004.html>



次世代科学技術チャレンジプログラム
情報科学の達人
プログラム

会誌ぺた語義

会員および世の中全般における情報教育に対する関心の高まりを反映して、教育に関係するコラム・記事・解説を掲載する教育コーナー「ぺた語義」を常設しました。「ぺた語義」の内容はWebにも掲載され、どなたにでもお読みいただくことができます。Webはこちら⇒<https://www.ipsj.or.jp/magazine/peta-gogy.html>

■ 最近の記事

2024年9月号	個別入試への「情報」の出題（赤澤紀子） 中高生情報学研究コンテストの意義と第6回の審査の様子（中野由章） 第6回中高生情報学研究コンテストの作品紹介（稲垣知宏）
2024年8月号	学校全体で取り組む情報教育の推進（稲垣俊介） 東北大学における業務のDX推進（藤本一之・佐藤 卓）
2024年7月号	LLM で人間の学習能力は進化するのか退化するのか（喜多敏博） 著作権教育教材のサステナブルな取り組み（天野由貴） AI 時代の仕事と一般情報教育について考える—シンポジウム「これからの大学の情報教育」 2023 開催報告—（山際 基）
2024年6月号	音の周波数とCPUクロックの周波数に関する教育的雑談（和田 勉） 躍進するオンライン教育—MOOCの未来とIPSJ-JMOOC共同事業—（岡田祥成） PISA2022と日本の情報教育（竹中章勝）



先生、質問です！

主にジュニア会員向けの質問コーナーですが、正会員、学生会員からも受け付けています。皆さんの疑問を情報学の専門家の研究者の皆さんに答えていただきます。選ばれた質問は研究者の皆さんからの回答とともに会誌やWeb上に掲載しています。

■ 最近の質問

- Q54. 自分自身の研究をシンプルに相手に伝えるコツはありますか？
- Q53. 深層学習を使って、歴史学を研究することはできますか？
- Q52. ローマ字の書き順ってあるの？
- Q51. 究める道筋はどのように決めるの？
- Q50. 日頃、どのようなことを考えながら研究をされていますか？
- Q49. プログラミングに苦手意識がありますが…
- Q48. 医療系の研究者・開発者とつながるには？
- Q47. アカデミアと企業の違いは？ (Vol.64 No.1)

■ 「先生、質問です！」 <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sensei-q.html>



「先生、質問です！」質問募集



「先生、質問です！」質問募集

情報処理学会ジュニア会員の皆さん、

情報処理学会にご入会いただき、どうもありがとうございます。このたび、ジュニア会員の皆さん向けの企画が立ち上がります。その名も「先生、質問です！」

ジュニア会員の皆さんの中には、コンピュータ科学って面白そうだけどまだよく分からないという方がいらっしゃるのではないかと思います。そんな皆さんに耳寄りな企画です。本企画では、皆さんの疑問を情報学の専門家の研究者の皆さんに答えていただきます。普段なかなか聞けないことも、せっかくの機会なのでぜひ質問しちゃいましょう！

小中高校教員割引キャンペーン

高等学校情報科を担当される先生方はもちろん、これから全ての教科科目で「情報活用能力育成」を担当される先生方にご入会いただき、共に知識の向上や授業内容の充実にむけて多くの小中高等学校と先生方と活動を進めていきたいと考え、2020から続けて2024年度もキャンペーンを実施しております。

■教員にとってのメリット

- ・中高生情報学研究コンテスト／Exciting Coding! Junior／初等中等教員研究発表セッションなど生徒向けや

教員向けイベントを情報教育に活用できる

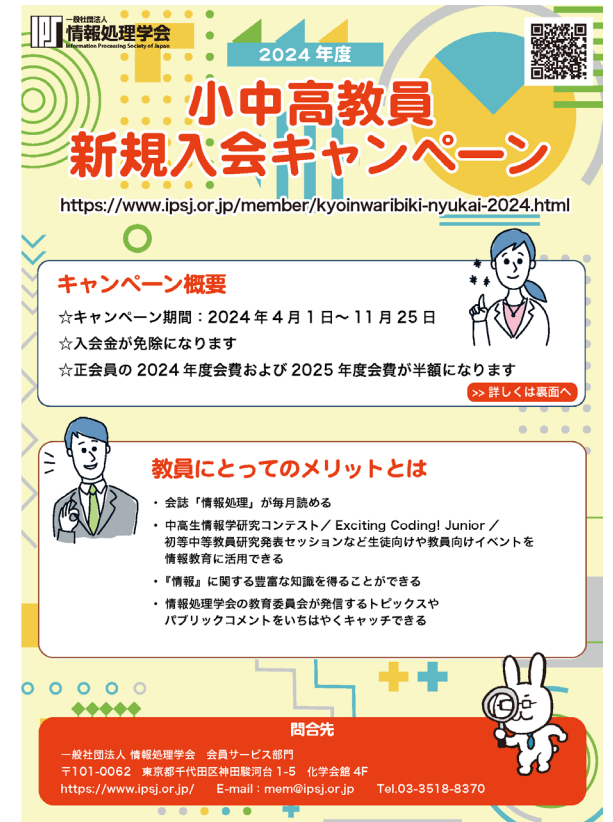
- ・『情報』に関する豊富な知識を得ることができる
- ・情報処理学会の教育委員会が発信するトピックスやパブリックコメントをいち早くキャッチできる

■キャンペーン内容

- ・入会金（2,000円）が免除となります。
- ・正会員の2024年度会費（10,800円）が半額（5,400円）に割引されます。
- ・正会員の2025年度会費（10,800円）が半額（5,400円）に割引されます。

■2025年度小中高教員新規入会キャンペーン（2024年11月25日まで）

<https://www.ipsj.or.jp/member/kyoinwaribiki-nyukai-2024.html>



情報処理学会
Information Processing Society of Japan

2024 年度

小中高教員 新規入会キャンペーン

<https://www.ipsj.or.jp/member/kyoinwaribiki-nyukai-2024.html>

キャンペーン概要

- ☆キャンペーン期間：2024 年 4 月 1 日～11 月 25 日
- ☆入会金が免除になります
- ☆正会員の 2024 年度会費および 2025 年度会費が半額になります

>> 詳しくは裏面へ

教員にとってのメリットとは

- ・会誌「情報処理」が毎月読める
- ・中高生情報学研究コンテスト／Exciting Coding! Junior／初等中等教員研究発表セッションなど生徒向けや教員向けイベントを情報教育に活用できる
- ・『情報』に関する豊富な知識を得ることができる
- ・情報処理学会の教育委員会が発信するトピックスやパブリックコメントをいち早くキャッチできる

問合せ先

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
<https://www.ipsj.or.jp/> E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8370

2024年度高等学校情報科教員研修

本会は、文部科学大臣から免許状更新講習規則（平成20年文部科学省令第10号）第1条第4号の規定に基づき教員免許状更新講習の開設者として指定を受け、2014年度より教員免許状更新講習を実施してまいりました。教員免許更新制は2022年7月1日に廃止されましたが、本会は高等学校情報科研修の必要性を鑑み、文部科学省等と連携しながら、今までの教員免許状更新講習の内容を継続した教員研修を実施しています。

■ 2024年度高等学校情報科教員研修（2024年度の研修は2023年度の内容と同じです。）

<https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KENSHU2024.html>

■ 主催：一般社団法人情報処理学会

■ 研修スタイル：オンデマンド（30～60分/講座）

■ 期間：受講：2024年5月23日（木）～ 2025年 3月31日（月）

■ 研修コンテンツ（基礎編・応用編の単元：A情報デザイン／Bシミュレーション／Cプログラミング／Dデータの活用／E情報通信ネットワーク）

- ・ 基礎編（全16講座）～情報Ⅰの授業の展開方法～
- ・ 応用編（全21講座）～情報Ⅰの効果的な授業の展開方法と情報Ⅱへの接続～
- ・ 発展編（全 6 講座）

■ 受講料：無料

■ 受講申込：Plant 全国教員研修プラットフォームからの申し込みになります。

<http://www.nits.go.jp/service/plant/>

県教育委員会への講師派遣

情報処理学会では、全国の教育委員会からのご要望に応じ、教員研修に適切な専門家を派遣しています。講師派遣をご希望の教育委員会は、お気軽に詳細をお尋ねください。

■ 教員研修の講師派遣

<https://www.ipsj.or.jp/education/9faeag000000ueoe.html>

■ 問合せ先

sig@ipsj.or.jp

※メール送信の際は、Subjectを「問い合わせ：研修講師派遣」としていただけると幸いです。

IPSJ MOOC

情報処理学会では、高等学校「情報科」の教員研修や授業等で活用できる動画教材を本会会員の研究者・教員らにより、文部科学省、および情報サービス産業界からの支援、協力を得て制作し、提供しています。

教材は、「情報I」教員研修用教材の「第3章コンピュータとプログラミング」と「第4章情報通信ネットワークとデータの活用」に対応した内容です。**無償でご利用**いただけます。

- ◆ 高等学校情報科「情報I」教員研修用教材（本編）
⇒ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416756.htm
- ◆ MOOCとは、Massive Open Online Coursesの略で、大規模な公開オンライン講座のことです。

■ IPSJ MOOC

<https://sites.google.com/a.ipsj.or.jp/mooc/>



※ JMOOC (<https://www.jmooc.jp/>) でも同一内容で開講中